

## 「研究者の環境改善に関する意識調査」

3月26日（土）理研の鈴木梅太郎ホールに於いて、日本女性科学者の会・和光市教育委員会・理研が主催する、文部科学省・女性の社会参画支援促進事業シンポジウム「科学・技術分野で女性研究者が活躍するための4つの条件」が開催されます。つきましては、シンポジウムにて女性研究者の具体的な研究環境・意識の把握と改善を目指した提言を行うため、以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。なお、勝手ながら、締切りは3月10日（木）とさせていただきます。

ご回答は、回答用紙に記入し、回答のみ E-mail または Fax でお送り下さい。

**E-Mail: Ysuga-office@yahoogroups.jp**

**Fax: 03-5248-1415 (菅原宛)**

以下の項目について当てはまる番号を選び別紙回答用紙に記入して下さい。その他に該当する場合等は回答用紙の（ ）内にお書きください。

1. 年齢をお答えください。 1：24歳以下 2：25～29歳 3：30～34歳  
4：35～39歳 5：40～44歳 6：45～49歳 7：50～54歳  
8：55～59歳 9：60歳以上
2. 性別をお答えください。 1：男性 2：女性
3. 配偶者の有無をお答えください。 1：あり 2：なし
4. 子供についてお答えください。  
人数—1：なし 2：1人 3：2人 4：3人 5：4人以上  
年齢—1：小学生未満 2：小学生 3：中学生 4：高校生 5：大学生  
6：社会人 7：その他（ ）
5. 最終学歴をお答えください。 1：学部卒 2：大学院卒（修士） 3：大学院卒  
（博士） 4：その他（ ）
6. 学位（博士）についてお答えください。  
1：なし 2：あり（コース博士） 3：あり（論文博士）
7. 所属する学会を重要な順に3つまでお答えください。  
（ ）学会、（ ）学会、（ ）学会
8. 現在の雇用形態をお答えください。 1：学生 2：常勤（定年制） 3：常勤（任期制）  
4：非常勤 5：その他（ ）
9. 現在の役職名をお答えください。（ ）
  
10. あなたの将来像についてお聞きします。  
10. 1 将来、どのような職につきたいですか？ 1：研究機関または大学等で研究室を主宰 2：研究機関または大学等で研究に従事 3：教育職 4：行政職 5：起業 6：模索中 7：その他（ ）
10. 2 その職に就ける可能性は？ 1：既に就いている 2：努力すれば就ける 3：努力しても就けそうにない 4：就けるシステムがない 5：分からない

い 6：その他（ ）

1 1. 上の1 0. 2で、1以外に○をつけた方にお聞きします。

希望の職に就き研究・開発を進める上で、女性がステップアップを望むにはどのような環境や機会が必要ですか？

順位の高いものから5つ、番号をお書きください。

1：研究・開発費 2：研究・開発時間 3：研究・開発設備 4：テーマに長く取り組める環境 5：上司の理解 6：能力の適切な評価 7：家庭と仕事を両立できる環境 8：男性の意識改革 9：女性の意識改革 10：採用数の増加 11：採用選考過程の公正性の確保 12：ロールモデル 13：その他（ ）

【1位： 2位： 3位： 4位： 5位： 】

1 2. 研究機関の採用時に研究職と技術職（技官など）を選べるとしたら、どちらを希望しますか？

1：研究職 2：技術職 3：どちらでも良い 4：その他（ ）

1 2. 1 「研究職」を選んだ方にお聞きします。選んだ理由は何ですか・

1：研究が好きだから。 2：男女の差がないと思うから。 3：自分の能力を試したいから。 4：正當に評価してもらえるとと思うから。 5：その他（ ）

1 2. 2 「研究職」を選んだ方にお聞きします。独立した研究室を主催したいですか？

1：研究室を主催したい。 2. 研究室員でよい。 3：どちらとも言えない。

1 2. 3 「技術職」を選んだ方にお聞きします。選んだ理由は何ですか？

1：実験が好きだから。 2：男女の差がないと思うから。 3：自分の能力を試したいから。 4：正當に評価してもらえるとと思うから。 5：常勤だから。 6：家庭との両立が容易と思えるから。 7：労働時間が決まっているから 8：その他（ ）

1 3. 女性研究者の研究環境改善につながると思われるものを具体的に6つ挙げます。

それぞれの項目についてお答えください。

1 3. 1 女性研究者の意識改革（啓発セミナー開催、情報収集・交換のためのネットワーク構築等）のために、国及び雇用機関が予算を投入する。

1：賛成 2：反対 3：どちらとも言えない(理由： )

1 3. 2 女性の多様性（年齢、既婚/未婚、子供の有無などの状況による個人差が大きい）を正しく理解するために、管理職の意識改革（セミナー開催、冊子作成等による啓発）を行う。

1：賛成 2：反対 3：どちらとも言えない(理由： )

1 3. 3 各職種別の明確な評価基準を設定し、それにより適正に評価されるシステムを構築する。

1：賛成 2：反対 3：どちらとも言えない(理由： )

1 3. 4 「男女共同参画特区」を設置し、男女共同参画に有効な項目を実現した先端的環境を現実のものとしたモデル事業を行う。

- 1 : 賛成    2 : 反対    3 : どちらとも言えない (理由: )
- 1 3 . 5 「男女共同参画コーディネーター」を設置し、制度の適切な運用を保証するとともに、様々な問題の情報収集・対応・対策、及び定例報告会等による情報公開を行う。
- 1 : 賛成    2 : 反対    3 : どちらとも言えない (理由: )
- 1 3 . 6 研究グループのリーダーにおける女性比率が一定を超えている機関に特別交付金を提供し、女性研究者の研究環境改善を目的としたものに使用する。
- 1 : 賛成    2 : 反対    3 : どちらとも言えない (理由: )
- 1 3 . 7 特定領域研究などの大型プロジェクトは班員として一定の女性比率を含めることを義務づける。
- 1 : 賛成    2 : 反対    3 : どちらとも言えない (理由: )
- 1 3 . 8 「出産・育児期の女性研究者」に対する科学研究費の特別枠を設ける。
- 1 : 賛成    2 : 反対    3 : どちらとも言えない (理由: )
- 1 3 . 9 上の1 2に挙げた6項目以外に、有効と思われる具体的なアイデアがあればお書きください。 ( )
- 1 4 . 任期制が女性研究者の研究環境に与える影響について、5つ選んで下さい。
- 1 : 研究経験を積むことが出来る。    2 : 経験の蓄積が難しい。    3 : 競争が激しくなる。    4 : 人間性が失われる。    5 : 子供を産みにくくなる。    6 : 常勤職が得にくくなる。    7 : 次のポジションを確保するのが難しくなる。    8 : 次のポジションを見つけやすくなる。    9 : 収入が安定しない。    10 : ローンが組めない。    11 : 将来像が描けない。    12 : 研究テーマが一貫しない。    13 : その他 ( )
- 1 5 . 研究を断念しようと思ったことがありますか。
- 1 : ある    2 : ない    3 : どちらとも言えない
- 1 5 . 1 「1 : ある」と答えた方にお聞きします。それはどんな時ですか？3つ選んで下さい)
- 1 : ポジションが得られなかったとき。    2 : 研究がうまくいかないとき。    3 : 上司とうまくいかないとき。    4 : 同僚とうまくいかないとき。    5 : 家族に問題が起こったとき。    6 : 子供に問題が起こったとき    7 : 健康を害したとき。    8 : 将来像が描けなくなったとき。    9 : 研究費がなくなったとき。 10 : その他 ( )
- 1 5 . 2 そのとき、誰かに相談しましたか。
- 1 : 相談した    2 : 相談しない    3 : どちらとも言えない
- 1) 「1 : 相談した」と答えた方に伺います。誰に相談しましたか (3つ以内)
- 1 : 親・兄弟姉妹    2 : 上司    3 : 配偶者    4 : 友人    5 : 同僚    6 : 先輩    7 : その他 ( )
- 2) 「2 : 相談しない」と答えた方に伺います。理由は何ですか。(3つ以内)
- 1 : わかってもらえないから    2 : 適切な人が居ないから    3 : 自分の問題だから    4 : 信頼できないから。    5 : 人に言えないから    6 : 噂になると困るから    7 : その他 ( )

16. 女性研究者が研究を続けるために必要と思うことは何ですか。(5つ以内)
- 1: 上司の理解    2: 優秀な上司    3: 友人・同僚との連携    4: 情報交換  
5: 公平な評価    6: 学閥    7: 家族の理解    8: 研究奨励金  
9: 相談できる人    10: 研究支援(者)    11: 職場確保への法的整備  
12: その他( )
17. 研究の場所を確保するために、大学・研究機関などで女性の一定比率の雇用を促進することについてお聞きします。
- 1: 賛成    2: 反対    3: どちらとも言えない(理由: )
17. 1 「1: 賛成」と答えた方にお聞きします。理由は何ですか?
- 1: 雇用のチャンスは女性に不利だから。    2: 後援者がいると有利になるから。  
3: 男性が優先されるから。    4: 公募が適正に運用されていないから。  
5: その他( )
17. 2 「1: 賛成」と答えた方にお聞きします。一定の女性比率を求めるとしたら、どのくらいの比率を考えていますか?
- 1: 5%    2: 10%    3: 20%    4: 30%    5: その時点での大学院生に占める女性の比率    6: その他( )
17. 3 「2: 反対」と答えた方にお聞きします。理由は何ですか?
- 1: 雇用のチャンスは平等と思うから。    2: 逆差別に繋がるから。  
3: 実力の伴わない人もいるから。    4: 人数あわせになるから。  
5: その他( )
17. 4 「3: どちらとも言えない」と答えた方にお聞きします。理由は何ですか?  
30字以内でお書き下さい。

以上です。

みなさまからの貴重なご意見を元に、提言をまとめていきたいと思っております。ご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。

ご回答は、別紙回答用紙に記入し、回答用紙のみを E-mail または Fax でお送り下さい。

E-Mail: [Ysuga-office@yahoogroups.jp](mailto:Ysuga-office@yahoogroups.jp)

Fax: 03-5248-1415 (帝京大学生理学講座気付・合同シンポジウム実行委員会・菅原宛)

締切りは3月10日(木)